



2026年3月24日

第一生命ホールディングス株式会社

---

## GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「改善度の高いサステナビリティ開示」に選定

---

第一生命ホールディングス株式会社(代表取締役社長 グループ CEO: 菊田 徹也、以下、当社)は、年金積立金管理運用独立行政法人(以下、GPIF)の国内株式運用機関が選ぶ「マテリアリティの観点から『改善度の高いサステナビリティ開示』」に選定されました。

GPIFは、国内株式の運用を委託している運用機関に対し、年間を通じたエンゲージメントの中で有用であった「優れたサステナビリティ開示」をしている企業を最大10社、「改善度の高いサステナビリティ開示」をしている企業を最大5社選定するよう依頼しました。その結果、延べ23機関の協力のもと、「優れたサステナビリティ開示」には89社、「改善度の高いサステナビリティ開示」には66社が選定され、当社は後者において2機関から評価を獲得しました。

今回の選定は、従来の「優れた統合報告書」など媒体ごとの評価から、マテリアリティの観点を重視した統合的なサステナビリティ開示全体の評価へと移行した中で実施されたものです。ISSB基準に適合したSSBJ基準による法定開示の段階的適用開始を見据え、サステナビリティ開示について媒体ごとではなく、統合的に考える段階に来ているとの認識に基づき、今回から各種開示の選定を「優れたサステナビリティ開示」に一本化したとGPIFは説明しています。

当社グループは、今後も統合報告書やサステナビリティレポート等を通じて、グループの価値創造ストーリー、コア・マテリアリティ(重要課題)<sup>1</sup>への対応、ならびにサステナビリティ取組みが中長期的に企業価値向上にどのように繋がるのかを、投資家をはじめとするステークホルダーの皆さまにより分かりやすくお伝えしてまいります。

(参考)

当社の統合報告書・サステナビリティレポートは、当社ホームページでご覧いただけます。

・統合報告書: [https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual\\_report/2025/pdf/index\\_001.pdf](https://www.dai-ichi-life-hd.com/investor/library/annual_report/2025/pdf/index_001.pdf)

・サステナビリティレポート: [https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/report/2025/pdf/index\\_001.pdf](https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/report/2025/pdf/index_001.pdf)

GPIFのニュースリリースは以下よりご覧ください。

[https://www.gpif.go.jp/esg-stw/20260317\\_excellent\\_sustainability\\_disclosure.pdf](https://www.gpif.go.jp/esg-stw/20260317_excellent_sustainability_disclosure.pdf)

以上

---

<sup>1</sup> 第一生命グループのコア・マテリアリティについてはこちらをご覧ください

<https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/important/indentify.html>